

報道関係各位

2026年5月29日

クラダシ、電力小売事業者・株式会社中京電力を完全子会社化 ～「食×エネルギー」のシナジーで、フードロス削減と脱炭素を両立～

株式会社クラダシ(本社:東京都品川区、代表取締役社長CEO:河村晃平、以下「クラダシ」)は、**2026年5月29日**開催の取締役会において、愛知県名古屋市を拠点とする小売電気事業者・株式会社中京電力(本社:愛知県名古屋市、代表者:岩崎藍、以下「中京電力」)の全発行済株式を取得し、完全子会社化することを決議いたしました。株式譲渡契約は本日締結し、**2026年6月9日**に株式の譲渡実行を予定しています。



契約締結調印の様子(5月29日)

左:株式会社クラダシ 代表取締役社長CEO 河村晃平、右:株式会社中京電力 代表 岩崎 藍

■子会社化の背景

クラダシは、ミッションを「善いビジネスで未来に実りを。」、ビジョンを「日本一のインパクト企業グループへ。」と掲げ、創業以来「食」の領域を中心に、社会性・環境性・経済性に優れたビジネスを展開してまいりました。2025年1月には再生可能エネルギー事業「Kuradashi Energy」を開始し、同年9月には系統用蓄電池の第1号案件(栃木小山蓄電所)を稼働させています。

国内の電力小売市場は、2016年の全面自由化以降、登録事業者が761者へ増加するなど多様化が進んでいます(※1)。また、新電力のシェアは一時的な燃料価格高騰を経て20%まで回復しており(※2)、今後はデータセンターの新設やDX・GXの加速を背景に、電力需要そのものが増加へ転じると見込まれています。この構造変化は新興事業者にとって大きな好機である一方で、実

【本件に関するお問い合わせ】

広報担当:齋藤 pr@kuradashi.jp

Press Release

際には登録事業者の約3割に供給実態がなく(※3)、さらに経済産業大臣への登録制という参入障壁も存在します。

このような厳しい市場環境下、中京電力は2021～2022年の新電力倒産ラッシュを乗り越え、愛知・名古屋を基盤に高圧・低圧双方の市場で強固な顧客基盤を築く電力小売事業者です。同社は電気代を通じて地域の課題解決や夢の実現を支援する、独自の社会貢献型モデル「エネルギーファンディング」を掲げています。

このたび、再生可能エネルギー事業の拡大を進めるなかで、同社を子会社化することにより、電力小売事業の基盤を獲得するとともに、クラダシが有する再生可能エネルギーのノウハウとフードロスのビジネスのアセットの連携を通じたシナジーの創出が見込めると判断いたしました。本件により「蓄電・小売」を展開し、グリーンインフラの確立に向けた基盤づくり、及び事業成長を非連続に加速させるとともに、社会的インパクトの創出と持続可能な社会の実現を両立させてまいります。

※1出典:資源エネルギー庁「エネルギー動向(2025年6月版)第1章第4節」

(<https://www.enecho.meti.go.jp/about/energytrends/202506/html/s-1-4.html>)

※2出典:資源エネルギー庁「電力小売全面自由化の進捗状況について」2025年2月28日版

(https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/pdf/086_03_00.pdf)

※3出典:資源エネルギー庁「エネルギー白書2025」

(<https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2025/html/2-6-1.html>)

■ 子会社化の意義

本件には、クラダシの中期成長戦略において以下3点の戦略的意義があります。

① 電力小売基盤の即時獲得

中京電力が保有する高圧・低圧の顧客基盤を一括取得。登録小売電気事業者ライセンスをゼロから取得する手間と時間を省き、子会社化実行後、速やかに事業展開が可能。

② 「蓄電×小売」バリューチェーンの強化

クラダシが展開する系統用蓄電池事業のノウハウに、中京電力の「小売」機能を統合。エネルギーの無駄をなくす最適制御インフラの構築に向けて事業領域を拡大する。

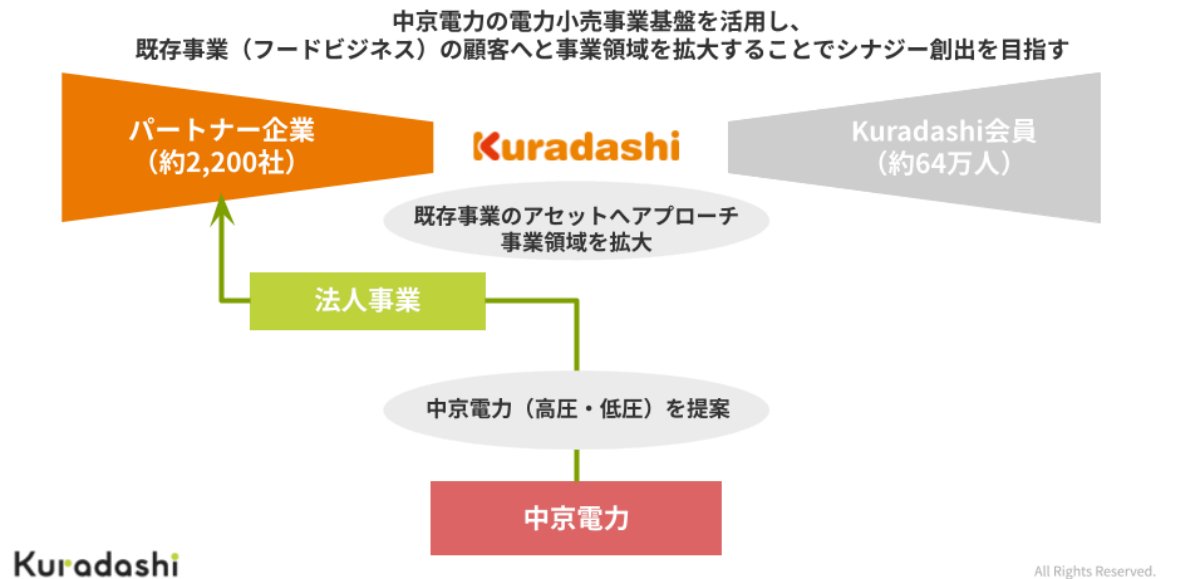
③ 食×エネルギーのシナジー

クラダシが有するパートナー企業約2,200社という強固なネットワークに対して中京電力の電力を提案し、企業のSDGs経営を「食とエネルギー」の両面から支援する、唯一無二の社会的インパクトをクロスセルで展開。

【本件に関するお問い合わせ】

広報担当:齋藤 pr@kuradashi.jp

中京電力グループジョインによる事業拡大



■今後の日程

| | |
|----------|---------------|
| ①取締役会決議日 | 2026年5月29日 |
| ②契約締結日 | 2026年5月29日 |
| ③株式譲渡実行日 | 2026年6月9日（予定） |

■株式会社中京電力の概要

| | |
|------------|---|
| ①名称 | 株式会社中京電力 |
| ②所在地 | 愛知県名古屋市西区城西五丁目27番1号 |
| ③代表者の役職・氏名 | 代表取締役 岩崎 藍 |
| ④事業内容 | 電力小売事業（高圧・低圧） |
| ⑤資本金 | 600万円 |
| ⑥設立 | 2020年8月 |
| ⑦URL | https://www.chukyo-ep.co.jp/ |

Press Release

■ クラダシ代表メッセージ

株式会社クラダシ 代表取締役社長CEO 河村 晃平

「クラダシはソーシャルビジネスの先駆者として、これまでフードロス削減に挑んできた背景から、エネルギーのロス削減にも取り組むべく再エネ事業へと参入してまいりました。クラダシが有する蓄電池事業のノウハウに中京電力の小売基盤が加わることで、電力のバリューチェーンが強化されます。さらに、クラダシのアセットと電力小売を組み合わせることで、フードロス削減と脱炭素を掛け合わせた大きな社会的インパクトの実現が可能となります。エネルギーのあり方を変えることは、食のあり方を変えることと同じくらい、社会を変える力があると信じています。今回の取り組みをきっかけに、日本の再生可能エネルギーの普及をより力強く後押ししていきます。」

■ 中京電力代表メッセージ

株式会社中京電力 代表 岩崎藍 氏

「クラダシの『善いビジネスで未来に実りを。』というミッションに深く共感し、このたびクラダシグループへのジョインを決断しました。クラダシが持つパートナー企業約2,200社のネットワークと、私たちが積み上げてきた電力小売の顧客基盤を掛け合わせることで、より多くの方々に再生可能エネルギーを届けられると確信しています。この統合を機に、自社の事業基盤をさらに活かしながら、日本の脱炭素化と地域社会への貢献を加速してまいります。」

■ 株式会社クラダシについて

代表者氏名：河村晃平

設立：2014年7月

本社所在地：〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

URL：<https://corp.kuradashi.jp/>

【サービス紹介】

- ・ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」：<https://www.kuradashi.jp/>
- ・クラダシが自社で運営する「クラダシ基金」：<https://www.kuradashi.jp/fund>
- ・冷凍宅配弁当「Dr.つるかめキッチン」：<https://tsurukame-kitchen.com/>
- ・オンライン料理教室「La Table de SHIORI Online」：<https://online.atelier-shiori.com/>

【店舗一覧】

- ・Kuradashi店舗一覧：<https://kuradashi.jp/pages/stores>

【クラダシのインパクト】

- ・インパクトサイト：<https://corp.kuradashi.jp/impact/>
- ・サステナビリティレポート：<https://speakerdeck.com/kuradashi/sustainability-report>

【2026年3月末時点の主な累計実績】

- ・フードロス削減量：37,951トン ・経済効果：184億6,465万円
- ・CO2削減量：100,607t-CO2 ・支援総額：187,674,126円

「Kuradashi」、「ソーシャルグッドマーケット」、「1.5次流通」、「もったいないを価値へ」は株式会社クラダシの登録商標です。